

「三股プライド」 ～心と形を整える～

令和4年4月8日（金） NO1 文責 木下 文秋

三股プライド～心と形を整える

4月に着任しました校長の木下文秋（きしたふみあき）と申します。私は、三股中の卒業生で、教諭としても平成10年から7年間ここに勤務していましたので、中学生から数えて3回目の三股中になります。前任の米丸校長先生は私の先輩になります。母校に着任することへの喜びと不安を同居させながら日々過ごしております。どうぞよろしく願いいたします。コロナ禍の中、集会や色々な行事が制限されていますが、その時々のお思いを文字に起こして「三股プライド」という学校だよりを不定期ですが書いていきたいと思っております。「心と形を整える」と副題を付けています。「心」とは『優しくて素直でたくましい心をもった生徒』そして「形」とは『誰に対しても挨拶と返事ができる人としての形をもった生徒』を意味します。心と形を整える努力を重ねることが三股中の誇り（プライド）と位置づけています。人にはみんな得手不得手がありますので、自分の劣る部分を他人と比較して自信を失うことがあります。しかし、人はみんな「かけがえない大切な命」を授かって、そして平等にこの世に生まれてきています。その人の容姿やその人のもつ身体的な特徴を揶揄（やゆ：からかうこと）したり、また、卑下（ひげ：自分を劣ったものとしていやしめること）したりすることがあってはいけません。そんなことがないように自分自身を高めていくことで「心と形」が整うと思っております。生徒の皆さん是非「三股プライド～心と形を整える」を胸に日々成長してください。私は、高崎中に2年、高城中に1年務めて三股中に赴任しましたが、外から見る三股中には、相当な勢いを感じていました。もちろん生徒数が県内で一番だということもありますし、部活動がとても盛んであることもその一つです。職員の顔も覚えられないまま新学期がスタートしますが、焦らずできることから丁寧に誠実に取り組んでいきたいと考えています。保護者の皆様の中には私のことをご存じの方がいらっしゃるかもしれませんが、学校にお越しの際は遠慮なくお声掛けください。最後に3年生の皆さん。いよいよ卒業までのカウントダウンが始まりました。最後の中体連、最後の学校行事が続きます。最高学年としてのプライドを胸に、全てに思いを込めて取り組んでください。3年生の頑張る姿を、後輩達は見て育ちます。そしてこれが、伝統となることを忘れないでください。これが三股魂です。